

シニア地域活動入門講座の歩み

令和7年2月8日
J-netシニア講座グループ

本講座は定年退職者を対象に豊かなシニアライフを目指す、きっかけ作りとして開催されてきた。J-net活動3本柱の一つであり、講座スタッフが中心となり企画・運営してきた。以下にその歩みと成果について報告する。

1. 受講者とJ-net入会者の推移

平成12年に第1回を開催、第8回から市社協と共同主催となり計23回が開催された。J-net入会は講座修了者を対象としており、図1に受講者数とJ-net入会者数を示す。

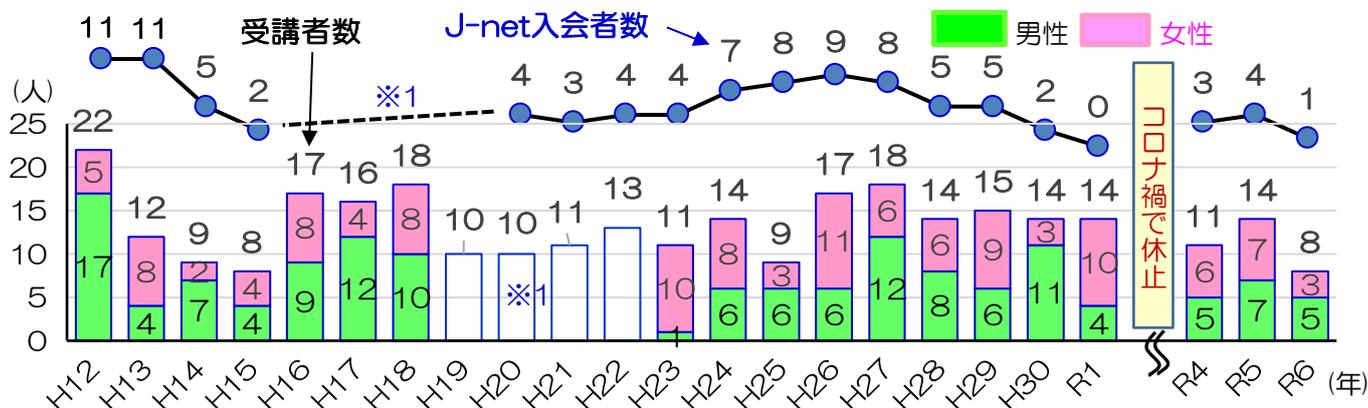


図1. シニア講座受講者とJ-net入会者の推移 (※1 記録不詳で数値は不記載)

- 1) コロナ禍で2年間休止。延べ305人(平均13人/回)が受講、うち100人超える方がJ-netに入会された。
- 2) 当初、定年退職予定者もいたが、R4年以降の受講者平均年齢は73歳と高齢化してきた。

2. 講座内容と変遷

受講者意見を反映し運営してきた。基本的な運営方針を踏襲し、事前準備でのスタッフ話し合いと受講者アンケートを踏まえテーマを検討した。表1.に開催年から抜粋し、特徴点を整理した。

表1. 抜粋 シニア講座の開催年と特徴点

開催日	内容(講座名称・受講者数・主なテーマ)	備考(テーマ選定の背景)
第1回(H12, 全8回) 土曜日、1回/月	「シニアライフを豊かに生きる」 22人 ・夫婦の有り方・日立市の歴史・楽しい料理	・仕事人間からの脱皮 ・スタッフが講師として活躍
第8回(H19, 全10回) 水曜日、2回/月	「シニア地域入門講座」 10人 ・仲間作り(井戸端会議)・ボランティアが重点テーマ	・市社協と共催(団塊世代にボランティア活動を紹介)
第15回(H23, 全10回) 水曜日、2回/月	「シニア地域活動入門講座」 10人 ・ボランティアを学ぶ・わが街日立の魅力再発見	・街の文化/歴史を見る、知る ・地域の社会活動を学ぶ
第22回(R5, 全6回) 水曜日、2回/月	「シニア地域活動入門講座」 14人(平均年齢73歳) ・街の活性化・長久保赤水・ミニシンポ(地域で支え合い)	・人口減、高齢化を見据えて ・支え合いの社会活動を知る



開催年当初の様子
(話し合いによる共同作業)



第20回 開講式の記念写真
(受講者とスタッフ)



第20回 福祉バスによる市内施設巡り
(日鉱記念館、旧共楽館、小平記念館)

- 1) 第1回は定退予定者に呼掛け、受講日を休日(土曜日)とした。テーマに夫婦の有り方、仕事人間から家庭人あるいは地域の社会人に導く内容が折り込まれた。
- 2) 第8回から市社協の広報力・行政力と連携し、仲間作りやボランティアをテーマとして選択。仲間作りでは井戸端会議と称し、受講者の話し合いの場が折り込まれた。
- 3) 第12回から講座名「シニア地域活動入門講座」となり、第15回では、わが街日立の魅力再発見をテーマとし、座学と福祉バス活用の市内施設巡りで街の歴史・文化を学んだ。
- 4) 第21回からは講座開催を午前とし、受講者の利便性に配慮。基調講話で街の活性化、福祉活動では「地域で支え合いの活動」をミニシンポジウム形式で学ぶ。歴史・文化では重要文化財「赤水園」を学ぶ。

3. まとめ

計23回の講座を開催し、豊かなシニアライフを目指す、きっかけ作りとして受講者の皆さんに高い評価をいただいた。改めて講師の皆様、日立市社会福祉協議会の皆様のご指導とご協力に厚く御礼を申し上げます。